

写真管理基準（案）

国 土 交 通 省

平成23年

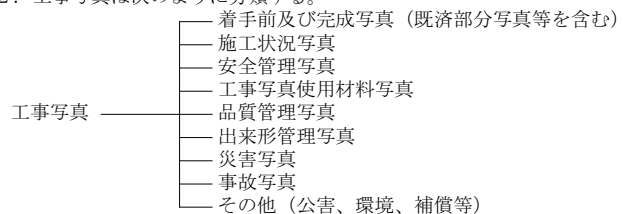
写 真 管 理 基 準 (案)

(適用範囲)

1. この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。

(工事写真の分類)

2. 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工 事 名
- ② 工 種 等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設 計 寸 法
- ⑤ 実 測 寸 法
- ⑥ 略 図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

なお、施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理を行う場合は、上記の④～⑥を省略しても良い。

(写真の省略)

4. 工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

(写真の色彩)

5. 写真はカラーとする。

(写真の大きさ)

6. 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

(工事写真帳の大きさ)

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

8. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。
 - (1) 工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各1部提出する。
 - (2) 原本としては、ネガ（A P Sの場合はカートリッジフィルム）または電子媒体とする。

(工事写真の整理方法)

9. 工事写真の整理方法は次によるものとする。
 - (1) 工事写真の原本をネガで提出する場合は密着写真とともにネガアルバムに、撮影内容等がわかるように整理し提出する。A P Sのカートリッジフィルムで提出する場合はカートリッジフィルム内の撮影内容がわかるように明示し、インデックス・プリントとともに提出する。
 - (2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の整理条件に示すものを標準とする。
なお、整理条件とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。
 - (3) 工事写真の原本を電子媒体で提出する場合は、「デジタル写真管理情報基準(案)」に基づき整理し提出するものとする。
この場合、工事写真帳の提出は不要とする。

(留意事項等)

10. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。
 - (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
 - (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
 - (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
 - (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等を工事写真帳に添付する。
 - (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

(その他)

11. 用語の定義
 - (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
 - (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
 - (3) 整理条件の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要があることをいう。

撮 影 箇 所 一 覧 表

区分		写真管理項目			摘要	
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件		
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回〔着手前〕	着手前1枚		
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回〔完成後〕	施工完了後1枚		
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回〔月末〕	不要		
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜〔施工中〕	適宜		
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付	
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所に1回〔施工前後〕	代表箇所1枚		
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて〔発生時〕	不要	工事打合簿に添付する。	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕	不要		
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回〔設置後〕			
		監視員交通整理状況	各1回〔作業中〕			
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回〔実施中〕	不要	実施状況資料に添付する。	
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。	
		品質証明(JISマーク表示)	各品目毎に1回			
		検査実施状況	各品目毎に1回〔検査時〕			
品質管理		別添 撮影箇所一覧表(品質管理)に準じて撮影				
		不可視部分の施工		適宜		
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表(出来形管理)に準じて撮影				
		不可視部分の施工		適宜		
		出来形管理基準が定められていない	監督職員と協議事項			
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕		適宜	

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件	
事故	事故報告	事故の状況	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
その他	補償関係	被害又は損害状況等	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回〔設置後〕	適宜	

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回	不要	圧縮強度試験に使用した コンクリートの 供試体が、当該現場の供 試体であることが確認できるもの
		スランブ試験	[試験実施中]		
		コンクリートの圧縮強度試験			
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工後試験)	空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		コンクリート舗装の場合適用
2	ガス圧接	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	不要	
		コンクリートの洗い分析試験			
3	既製杭工	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]	不要	
		テストハンマーによる強度推定調査			
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]		
4	下層路盤	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		超音波探傷検査			
		外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]		
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
5	上層路盤	水セメント比試験		不要	
		セメントミルクの圧縮強度試験			
		現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		ブルーフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験 土の液性限界・塑性限界 試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
6	アスファルト安定処理 路盤	含水比試験		不要	
		アスファルト舗装に準拠			

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析 試験			
	アスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定		不要	
		現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定			
		外観検査			
9	転圧コンクリート (施工)	すべり抵抗試験		不要	
		コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
		マーシャル突き固め試験			
		ハンマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定 (コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]		
10	ケースアスファルト舗装 (プラント)	現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		コアによる密度測定			
		貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		リュエール流動性試験240℃			
		ホイールラッキング試験			
		曲げ試験			
11	路床安定処理工	粒度		不要	
		アスファルト量抽出粒度分析 試験			
		温度測定			
		現場密度の測定	路床毎に1回 [試験実施中]		
		ブルーフローリング			
		平板載荷試験			
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	現場CBR試験		不要	
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
		含水比試験			
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中]		
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
13	固結工	平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場CBR試験			
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]		

撮影箇所一覧表(品質管理)

撮影回数 / 見状(品質管理)		写真管理項目			摘要
番号	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜	不要	
		モルタルの圧縮強度試験	【試験実施中】		
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 【試験実施中】	不要	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 【試験実施中】	不要	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験	【試験実施中】		
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 【試験実施中】		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 【試験実施中】		
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 【試験実施中】	不要	モルタルを除く
		塩化物総量規制			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 【試験実施中】		
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 【試験実施中】		
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 【試験実施中】		
18	河川・海岸土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 【試験実施中】	不要	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 【試験実施中】		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 【試験実施中】		
19	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 【試験実施中】	不要	
20	道路土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 【試験実施中】	不要	
		ブルーフローリング	工種毎に1回 【試験実施中】		
		平板載荷試験	土質毎に1回 【試験実施中】		
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 【試験実施中】		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 【試験実施中】		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 【試験実施中】		
21	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 【試験実施中】	不要	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			

撮影箇所一覧表(品質管理)

撮影箇所：見取(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
22	コンクリートダム(材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回 [試験実施中]	不要	
		骨材の密度及び吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回 [試験実施中]		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験	骨材毎に1回 [試験実施中]		
		骨材の微粒分量試験			
		粗骨材中の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
		骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験			
練り混ぜ水の水質試験					
	コンクリートダム(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの 気温・コンクリート
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		空気量測定			
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定	コンクリートの単位容積質量試験 コンクリートの洗い分析試験 コンクリートのブリージング試験 コンクリートの引張強度試験 コンクリートの曲げ強度試験		
		コンクリートの単位容積質量試験			
		コンクリートの洗い分析試験			
		コンクリートのブリージング試験			
		コンクリートの引張強度試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		湿度測定			
23	覆工コンクリート(NATM)	スランブ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	不要	
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		
		塩化物総量規制	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの洗い分析試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
24	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制	配合毎に1回	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験	[試験実施中]		
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合		
		空気量測定	[試験実施中]		
25	ロックボルト (NATM)	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合	不要	[試験実施中]
26	路上再生路盤工 (材料)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回	不要	[試験実施中]
		モルタルのフロー値試験	[試験実施中]		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜		
27	路上再生路盤工 (施工)	修正CBR試験	材料毎に1回	不要	[試験実施中]
		土の粒度試験	[試験実施中]		
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
		現場密度の測定	材料毎に1回		
28	路上表層再生工 (材料)	土の一軸圧縮試験	[試験実施中]	不要	[試験実施中]
		CAEの一軸圧縮試験			
		含水比試験			
29	路上表層再生工 (施工)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回	不要	[試験実施中]
		旧アスファルトの軟化点	[試験実施中]		
		現場密度の測定	材料毎に1回		
		温度測定	[試験実施中]		
		かきほぐし深さ			
30	排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント)	粒度		不要	[試験実施中]
		アスファルト量抽出粒度分析試験	合材の種類毎に1回		
		温度測定	[試験実施中]		
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
31	排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場)	外観検査		不要	[試験実施中]
32	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回	不要	[試験実施中]
		再生アスファルト量	[試験実施中]		
		外観検査			
		温度測定			
		現場密度の測定			
33	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 [現物照合時]	不要	[試験実施中]
		在庫品切出	当初の物件で1枚 [切出時] ※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 [試験実施中]		

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
31	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回	不要	[試験実施中]
		フッチ深さ	[試験実施中]		
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
32	溶接工	ベベル精度		不要	[試験実施中]
		真直度			
		引張試験	試験毎に1回		
		型曲げ試験	[試験実施中]		
		衝撃試験			
33	溶接工	マクロ試験		不要	[試験実施中]
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
34	溶接工	ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて [試験実施中]	不要	[試験実施中]

撮影箇所一覧表(出来形管理)

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	
						法長	200m又は1施工箇所1回 〔掘削後〕		
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕		
						法長 幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕		
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上り状況 厚さ	120m又は1施工箇所1回 〔仕上り時〕	代表箇所 各1枚	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	
						法長	200m又は1施工箇所1回 〔掘削後〕		
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 〔締固め時〕		
						法長 幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕		
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上り状況 厚さ	200m又は1施工箇所1回 〔仕上り時〕	代表箇所 各1枚	
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所 各1枚	
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所 各1枚	
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、 橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、 電磁波レーダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚 (試験種別毎)	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所1回 〔打込前後〕	代表箇所 各1枚	
						変位	40m又は1施工箇所1回 〔打込後〕		
						数量	全数量 〔打込後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	5		縁石工(縁石・アスカーブ)	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	不要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	不要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕	不要	
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	1	路側防護柵工(ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕	不要	
						ビーム取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	2	路側防護柵工(ガードケー ブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある 場合) 〔施工後〕	不要	
						ケーブル取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	9		区画線工	材料使用量	全数量 〔施工前後〕	不要	
						出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	11		コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	
						素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	1	プレテンション桁製作工(購入 工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	2	プレテンション桁製作工(購入 工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13		ポストテンション桁製作工	シーす、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外後〕		
						中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	14	1	プレキャストセグメント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
3	土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	14	2	プレキャストセグメント主桁組立工	組立状況	1スパンに1回 〔組立時〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	15		PCホロースラブ製作工	シーース、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	
							幅厚さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
							中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3	土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	1	PC箱桁製作工	シーース、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	
							幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
							内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕		
							中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3	土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	2	PC押出し箱桁製作工	シーース、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	
							幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
							内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕		
							中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3	土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	17		根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
							ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件				
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	18		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	19		捨石工	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	22		階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	24	1	伸縮装置工(ゴムジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	24	2	伸縮装置工(鋼製フィンガージョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
								法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						※幅 ※高さ	200m又は1施工箇所 に1回 (※印は場所打ちの場合) 〔埋戻し前〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	不要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	3	暗渠工	幅 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	不要	
					集水阱工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	不要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	30						
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3	1	基礎工護岸(現場打)	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	
						根入長	1施工箇所に1回 〔打込前〕		
						数量	全数量 〔打込後〕		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	5		場所打杭工	根入長	1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕		
						数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去 前、杭頭処理後		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕		
						鉄筋組立状況	1施工箇所に1回 〔組立後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	代表箇所 各1枚	
						偏心量	全数量 〔施工後〕		
						数量			
						ライナープレート 設置状況	1施工箇所に1回 〔掘削後〕		
						土質	土質の変わる毎に1回 〔掘削中〕		
						鉄筋組立状況	全数量 〔組立後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	7		オープンケーソン基礎工	各	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	
						ケーソンの長さ	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						ケーソンの幅			
						ケーソンの高さ			
						ケーソンの壁厚			
						偏心量			
						鉄筋組立状況			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	8		ニューマチックケーソン基礎工	各	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	
						ケーソンの長さ	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						ケーソンの幅			
						ケーソンの高さ			
						ケーソンの壁厚			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	9		鋼管矢板基礎工	各	1基に1回 〔据付後〕	全枚数	
						根入長	1基に1回 〔設置後〕		
						偏心量			
						鉄筋組立状況			
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況	1基に1回〔施工時〕		
						中埋状況			

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張)工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						法長 厚さ (ブロック積張)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張)工	3	2	コンクリートブロック工(連節ブ ロック張り)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張)工	3	3	コンクリートブロック工(天端保 護ブロック)	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張)工	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張)工	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						法長 厚さ(石積・張)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	6	アスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミク注入 状況	400mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	3	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	5	排水性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、ブ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	6	排水性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、ブ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、ブ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	2	グースアスファルト舗装工(基 層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、ブ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	3	グースアスファルト舗装工(表 層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、ブ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	
						スリップパー、 タイバー寸法、 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						鉄網寸法 位 置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕		
						目地段差	1工事に1回		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	10	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	15		路面切削工	幅 厚さ	1施工箇所(1回) 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所(1回) 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	17		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所(1回) 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所(1回) 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	5		バイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所(1回) 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所(1回) 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	7 8		パーチカドレーン工 (サンドドレーン工) (ベーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションバイル工)	打込長さ 出来ばえ	200m又は1施工箇所に1回 〔打込み前後〕	代表箇所 各1枚	
						杭径 位置・間隔	200m又は1施工箇所に1回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量〔打込前後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9		固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰バイル工)	位置・間隔 杭径 深度	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所に1回 〔打込前〕	代表箇所 各1枚	
						数量	全数量〔打込後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	2	土留・仮締切工(アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	
						配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	3	土留・仮締切工(連節ブロック 張り工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	4	土留・仮締切工(締切盛土)	天端幅 法長	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	5	土留・仮締切工(中詰盛土)	出来ばえ	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	9		地中連続壁工(壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	10		地中連続壁工(柱列式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	22		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工に準 ずる		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	1	1	鑄造費(金属支承工)	製作状況	適宜〔製作中〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	1	2	鑄造費(大型ゴム支承工)	製作状況	適宜〔製作中〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1基に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	9		プレバーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工	11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	
						素地調整状況 (塗替)	部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3	土木工事共通編	2	13	1	架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	14	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量 1工事に1回 〔混合前〕 土羽士の厚さ 200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕 法長 200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	14	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況 200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕 ラス鉄網の重ね 合せ寸法 200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕 厚さ(検測孔) 200m又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕 法長 200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 材料使用量 1工事に1回 〔混合前〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	14	3	吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況 200m又は1施工箇所に1回 〔清掃後〕 ラス鉄網の重ね 合せ寸法 200m又は1施工箇所に1回 〔吹付前〕 法長 200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 厚さ(検測孔) 200m又は1施工箇所に1回 〔吹付後〕	代表箇所 各1枚		
3	土木工事共通編	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔 200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	14	4	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長 200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3	土木工事共通編	2	14	6	アンカー工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回 〔削孔後〕 1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	15	1	場所打擁壁工	裏込厚さ 厚さ 幅 高さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕 200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	15	2	プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	15	4	井桁ブロック工	裏込厚さ 法長 厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕 200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	16	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船)	運転状況	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	土木工事共通編	2	18	1	床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効 高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回 〔打設前後〕	代表箇所 各1枚	

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
6 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	1 築堤・護岸	10 水制工	8		杭出し水制工	径 杭長 幅 方向	1施工箇所1回 〔打込み前〕 1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	3		配管工	配管状況	100m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	不要	
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	不要	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	6	1	函渠工(本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120m又は1施工箇所1回 〔巻立前〕	不要	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	4 水門	6 水門本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	4 水門	9 鋼管理橋上部工	10	1	支承工(鋼製支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	4 水門	9 鋼管理橋上部工	10	2	支承工(ゴム支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工 〇鋼管理橋 〇	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工 〇鋼管理橋 〇	5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
6 河川 編	4 水門	12 橋梁付 属物工 (鋼管 理橋)	7		検査路工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		開門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	5 堰	7 固定堰 本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	200m又は測定箇所 毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	5 堰	9 管理橋 下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	6 排水機 場	4 機場本 体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	6 排水機 場	4 機場本 体工	7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	適宜	
6 河川 編	6 排水機 場	5 沈砂池 工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
6 河川 編	7 床止め・ 床固め	4 床止め工	6	1	本体工(床固め 本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	7 床止め・ 床固め	4 床止め工	8	1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
6 河川 編	7 床止め・ 床固め	5 床固め工	6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸基礎 工	5		場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸基礎 工	6		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
						ブロックの形状 寸法	形状・寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
						据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸工	4		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
						ブロックの形状 寸法	形状・寸法変わる毎に1回 〔施工後〕		
						法長 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸工	5		コンクリート被覆工	法長 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						裏込材厚	40m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被覆 工	2		コンクリート被覆工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						基礎厚	40m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返工	3		波返工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	4 突堤基礎 工	4		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	4 突堤基礎 工	5		吸出し防止工	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	5		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
						ブロックの形状 寸法	形状・寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
						天端幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	9		石砕工	厚さ 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						間詰石状況	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	10		場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	11	1	ケーソン工(ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ フーチング高さ	1基に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	11	2	ケーソン工(ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	11	3	ケーソン工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	12	1	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人 工岬	5 突堤本体 工	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	3	セルラー工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	7 消波工	3		消波ブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
7 河川 海岸 編	3 海城堤防(人工リーフ、離岸堤、潜堤)	3 海城堤基礎工	3		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況 製作状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕 適宜〔製作中〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬 打継目処理 打込・養生 天端幅 堤幅 水通しの幅	月に1回〔施工中〕 4リフトに1回 〔施工中〕 測定箇所毎に1回 〔施工後〕	各月1枚 代表箇所 各1枚 代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工(不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
8 砂防 編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	不要	
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	
8 砂防編	3 斜面対策	9 抑止杭工	6		合成杭工	偏心量 数量	1施工箇所に1回 〔施工後〕 全数量（打込後）	代表箇所 各1枚	

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
9 ダム編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工(本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工(水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ 打継目処理	測定箇所毎に1回 〔施工後〕 奇数ブロック毎に岩着部中間 リフトに1回	適宜	
9 ダム編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工(副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム編	1 コンクリートダム	4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工(導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム編	2 フィルダム	3 盛立工	5		コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム編	2 フィルダム	3 盛立工	6		フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム編	2 フィルダム	3 盛立工	7		ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
9 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム(洪水吐)	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	
9 ダム 編	3 基礎 グラウチ ング	3 ボー リング 工			ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差	ブロック毎に1回 〔施工中〕	適宜	
						コアー	地質変化毎全数量 〔抜取後〕		

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道路 編	1 道路 改良	3 工場 製作 工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	1 道路 改良	9 カル バート 工	6		場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止工	4		落石防止網工	幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止工	5		落石防護柵工	高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止工	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止工	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音 壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回(施 工前は必要に応じて)〔施工前 後〕	適宜	
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音 壁工	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

【第10編 道路編】

第10編 道路編					写真管理項目			摘 要	
編	章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影頻度[時期]		整理条件
10 道路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕		
10 道路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、ブライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕		
10 道路 編	2 舗 装	5 排 水 構 造 物 工 (路面排水工)	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	不要	
10 道路 編	2 舗 装	7 路 掛 版 工	4		路掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	〈コンクリート工〉 各部の厚さ 各部の長さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						〈ラバーシュー〉 各部の長さ 厚さ			
						〈アンカーボルト〉 中心のずれ アンカー長			
10 道路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	1	大型標識工(標識基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	適宜	
10 道路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	2	大型標識工(標識柱工)	設置高さ	1施工箇所に1回	適宜	
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	2	ケーブル配管工(ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	6		照明工(照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
10 道路 編	3 橋 梁 下 部	3 工 場 製 作 工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
10 道路 編	3 橋 梁 下 部	6 橋 台 工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 (型枠取外し後)	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	3 橋 梁 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	1	橋脚躯体工 (振出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 (型枠取外し後)	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	3 橋 梁 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 (型枠取外し後)	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	3 橋 梁 下 部	8 鋼 製 橋 脚 工	9	1	橋脚フーチング工(I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 (型枠取外後)	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	3 橋 梁 下 部	8 鋼 製 橋 脚 工	9	2	橋脚フーチング工(門型)	幅 高さ	全数量 (型枠取外後)	代表箇所 各1枚	

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	10	1	橋脚架設工(I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	10	2	橋脚架設工(門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	4 鋼橋 上部	3 工場 製作 工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
					製作状況	適宜 〔製作中〕			
10 道路 編	4 鋼橋 上部	8 橋梁 付属 物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	1施工箇所に1回(削孔後)	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	5 コン クリ ート 橋上 部	6 プレ ビ ム 桁 橋工	2		プレビーム桁製作工(現場)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
					製作状況	適宜 〔製作中〕			
					仮組立寸法 (撮影項目は適 宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕			
					幅 高 さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕			
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	4 支保 工	3		吹付工	岩質	岩質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	
					湧水状況	適宜 〔掘削中〕			
					吹付面の清掃状 況	80mに1回 〔清掃後〕			
					金網の重合せ状 況	80mに1回 〔2次吹付前〕			
					吹付け厚さ(検 測孔)	80mに1回 〔吹付後〕			

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	4 支保 工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80mに1 断面〔穿孔中〕	代表箇所 各1枚	
						ロックボルト注入 状況	施工パターン毎又は80mに1 断面〔注入中〕		
						ロックボルト打設 後の状況	施工パターン毎又は80mに1 断面〔打設後〕		
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆工	3		覆工コンクリート工	覆工 (巻立空間)	1セメントに1回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	
					覆工 (厚さ)	1セメントに1回 〔型枠取外し後〕			
					幅 高 さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕			
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆工	5		床版コンクリート工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	6 イン バ ート 工	4		インバート本体工	インバート (厚さ)	40m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
						幅(全幅)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑門 工	4		坑門本体工	幅 高 さ	1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑 門 工	5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	40m又は1施工箇所1回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	
						覆工 (厚さ)	40m又は1施工箇所1回(型 枠取外し後)		
						幅(全幅) 高さ(内法)	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕		
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	200m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	1	防水工(防水)	幅	100m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	2	防水工(防水保護工)	厚さ	100m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	6 現 場 打 構 築 工	5	3	防水工(防水壁)	高さ 幅 厚さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	11 共 同 溝	7 ブ レ キ ャ ス ト 構 築 工	2		プレキャスト躯体工	据付状況	200m又は1施工箇所1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道路 編	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	2		管路工(管路部)	敷設状況	100m又は1施工箇所1回 〔敷設後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	3		プレキャストボックス工(特殊部)	据付状況	100m又は1施工箇所1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	4		現場打ちボックス工(特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	12 電 線 共 同 溝	6 付 帯 設 備 工	2		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	不要	
10 道路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	5		切削オーバーレイ工	平坦性 タックコート 整正状況	1施工箇所1回 〔施工後〕 各層毎に1回 〔散布時〕 400mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	7		路上再生工	敷均厚 転圧状況 整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	11		グレーピング工	出来ばえ	施工日に1回 (施工前後)	不要	
10 道路 編	16 道 路 修 繕	3 工 場 製 作 工	4		桁補強材製作工	原寸状況 製作状況 仮組立寸法 (撮影項目は適 宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕 適宜 (製作中) 1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕	代表箇所 各1枚	
10 道路 編	16 道 路 修 繕	22 橋 梁 付 属 物 工	4		落橋防止装置工	長さ、径、材質 出来ばえ	1橋に1回又は1工事に1回 (材料搬入時) 適宜 (施工中)	代表箇所 各1枚	

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
その他				舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
			ダム工関係		仮排水路	厚さ、高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	適宜	
			ダム工関係		仮締切(土石)	巻出し厚	100m又は1施工箇所に1回 〔巻出し時〕	適宜	
						転圧状況	転圧機械が変わる毎に1回 〔締固時〕		
			仮締切(コンクリート)		厚さ、高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	適宜		
			基礎掘削		組合せ機械	組合せ機械変わる毎に1回 〔施工中〕	適宜		
					土質、岩質	土質、岩質変わる毎に1回 〔掘削中〕			
					岩盤清掃状況	1施工箇所に1回 〔清掃前後〕			
			堤体コンクリート打設		骨材採取製造、 コンクリート製 造、運搬	月に1回 〔施工中〕	適宜		
					打継目処理、打 込養生	8リフトに1回 〔施工中〕			
			堤体止水		止水板の厚さ、 幅、埋設位置、 岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックに ついて4リフトに1回 〔据付後〕	適宜		
			堤体排水工		排水孔の位置、 箱拔断面、排水 管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックに ついて4リフトに1回 〔据付後〕	適宜		
			堤体冷却工		配管間隔、通水 状況	5リフトに1回 〔据付後〕	適宜		
			堤体埋設計器		器種、位置、間 隔	1施工箇所に1回 〔据付後〕	適宜		
			トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚		
				トンネル(矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚		
					湧水状況	適宜 〔掘削中〕			
					埋設支保工(建 込間隔、寸法、 基数)	100m又は1施工箇所に1回 〔建込後〕			
					湧水処理工設置 状況	全数量 〔設置後〕			
					集水渠(幅、高 さ、位置)	100m又は1施工箇所に1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚		
					地下排水工(管 接合据付状況)				
					地下排水工(フィル ター厚さ)	100m又は1施工箇所に1回 〔投入前後〕	代表箇所 各1枚		
					矢板設置状況	岩質の変わる毎に1回 〔設置後〕			
					グラウト材料使用 量	全数量 〔使用前後〕			

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
その他					トンネル関係	シールド掘削の地山状態	地質の変化の毎に1回〔掘削中〕	代表箇所各1枚	
				セグメント組立状況		1工事に1回〔組立後〕			
				二次覆工(セグメント清掃状況)		1工事に1回〔清掃後〕			
				二次覆工の厚さ		1スパンに1回〔型枠取外し後〕			
				維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回〔施工前後〕	不要	
					コンクリート舗装	目地掃除	3,000㎡に1回〔施工前後〕	不要	
						目地充填	3,000㎡に1回〔施工後〕		
						注入工、削孔状況(位置、間隔)	2,000㎡に1回〔削孔後〕		
						注入工、注入圧	2,000㎡に1回〔注入時〕		
						目地亀裂防止材、張付け状況	3,000㎡に1回〔張付け後〕		
					局部打換、各層厚さ	各層毎100mに1回又は1施工箇所1回〔施工前後〕			
					路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	
					道路除草	出来ばえ	5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	
					路肩整正	出来ばえ	1kmに1回	適宜	
					新設、更新、修理防護柵類	出来ばえ	1施工箇所1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回〔施工後〕	適宜	
					清掃(路面、標識、側溝、集水桝)	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	
					区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前〕	適宜	
						出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工後〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	
						出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
	</								

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件		
その他					維持・修繕工関係 鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所 に1回 〔組立後〕	適宜	
				コンクリート打設		打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回 〔施工時〕	1施工ブロック 各1枚		
				養生		養生状況	工種種別毎に1回、養生方法 毎に1回 〔養生時〕			

デジタル写真管理情報基準(案)

平成 18 年 1 月

国 土 交 通 省

デジタル写真管理情報基準(案)

目次

1 適用 1

2 フォルダ構成 1

3 写真管理項目 4

4 ファイル形式 6

5 ファイル命名規則 7

6 写真編集等 8

7 有効画素数 8

8 撮影頻度と提出頻度の取り扱い 8

9 その他留意事項 8

付属資料 1 写真管理ファイルの DTD 付 1-1

付属資料 2 写真管理ファイルの XML 記入例 付 2-1

注意事項：

本基準に準拠した写真管理ファイルの DTD ファイル(PHOTO04.DTD)は、平成 18 年 4 月以降に国土技術政策総合研究所の「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」ホームページ上で公開予定である。PHOTO04.DTD が公開されるまでの期間については、暫定的に PHOTO03.DTD (旧デジタル写真管理情報基準(案)H16.6)を参照し、使用するものとする。その際、本基準の付 2-1 「写真管理ファイルの XML 記入例」の 2～4 行目は、次のとおりに読替えるものとする。

```
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO03.DTD">  
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO03.XSL" ?>  
<photodata DTD_version="03">
```

1 適用

「デジタル写真管理情報基準(案)」(以下「本基準」という)は、写真等(工事・測量・調査・地質・広報・設計)の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものである。

2 フォルダ構成

写真の原本を電子媒体で提出する場合のフォルダ構成は、業務では図 2-1、工事では図 2-2 とする。

- 「PHOTO」フォルダの直下に写真管理ファイルと「PIC」及び「DRA」のサブフォルダを置く。なお、DTD 及び XSL ファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「PIC」とは、撮影した写真ファイルを格納するサブフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを格納するサブフォルダを示す。
- 参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。
- 参考図がない場合は「DRA」サブフォルダは作成しなくてもよい。
- フォルダ名称は半角英大文字とする。
- 写真フォルダ(PIC)及び参考図フォルダ(DRA)直下に直接対象ファイルを保存し、階層分けは行わない。

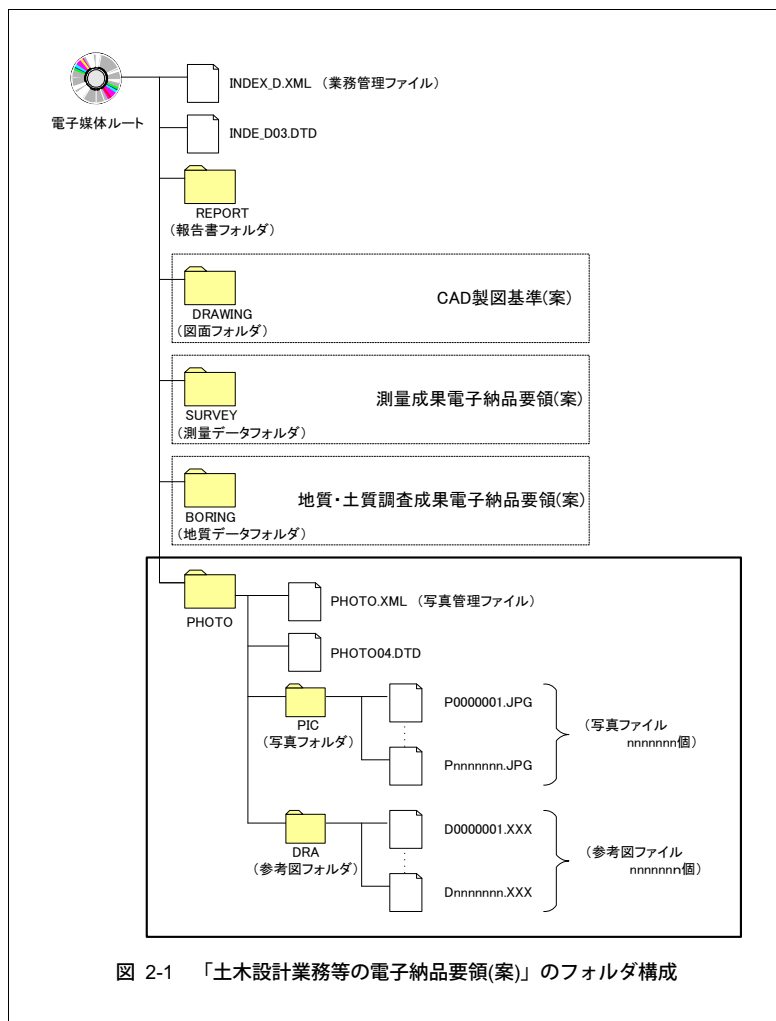


図 2-1 「土木設計業務等の電子納品要領(案)」のフォルダ構成

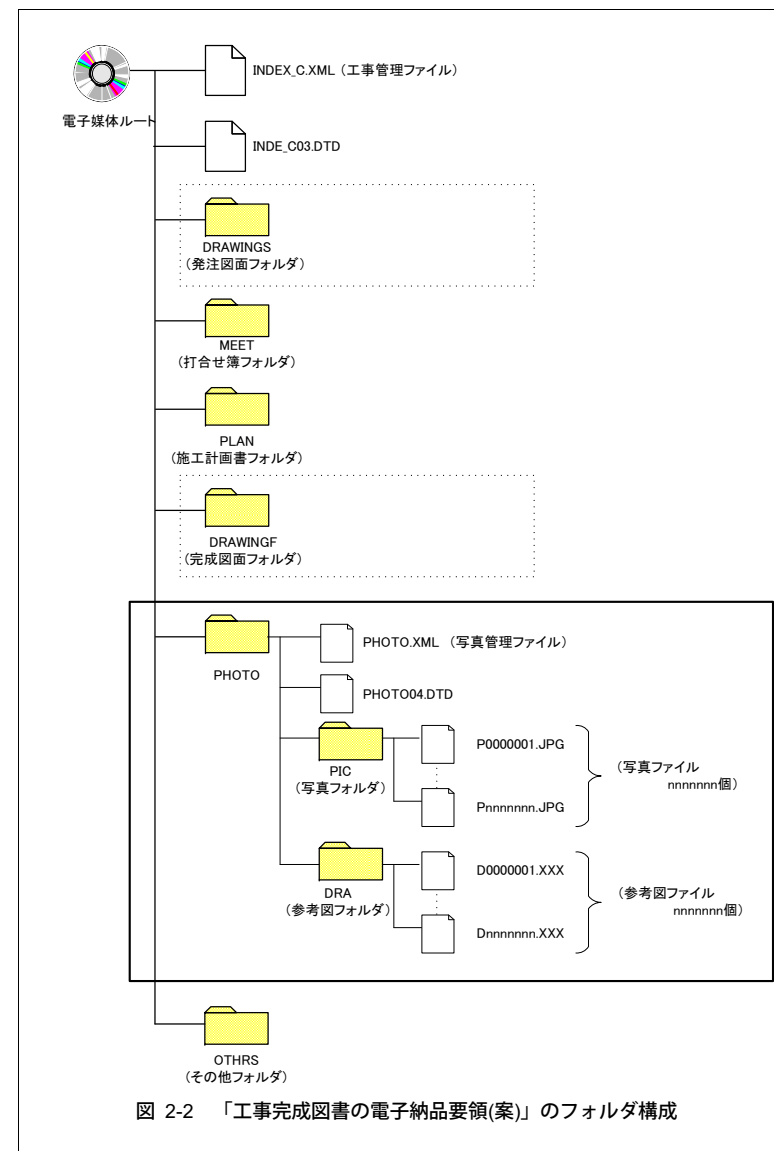


図 2-2 「工事完成図書の電子納品要領(案)」のフォルダ構成

3 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する写真管理項目は下表に示すとおりである。

表 3-1 写真管理項目 (1/2)

分類	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報		写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。	半角英大文字	127	▲	◎
		参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。	半角英大文字	127	▲	○
		適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(土木200601-01)で固定を記入する。 (分野:土木、西暦年:2006、月:01、版:01)	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
写真情報 ※	写真ファイル情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けてもよい。123枚目を、「000123」の様に0を付けて記入してはけない。	半角数字	7	▲	◎
		写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	半角英大文字	12	▲	◎
		写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
		メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば、全て「1」となる。	半角数字	8	□	◎
	撮影工種区分	写真-大分類	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。	全角文字 半角英数字	8	□	◎
		写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着手前及び完成写真」「既済部分写真等を含む」「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害、環境、補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は、「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:△」「安全管理写真:×」「使用材料写真:△」「品質管理写真:○」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」「その他:×」とする。(○:記入、△:記入可能な場合は記入、×:記入は不要し、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:△」「安全管理写真:×」「使用材料写真:△」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」「その他:×」とする。(○:記入、△:記入可能な場合は記入、×:記入は不要し、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:△」「安全管理写真:×」「使用材料写真:△」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」「その他:×」とする。(○:記入、△:記入可能な場合は記入、×:記入は不要し、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎
		工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□	△

表 3-1 写真管理項目 (2/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報 ※	付加情報※	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	半角英大文字	12	▲◎
		参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□○
		参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	全角文字 半角英数字	127	□◎
		付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□△
	撮影情報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□○
		撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年02月26日 → 2006-02-26	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	10	□◎
		代表写真	工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。	半角数字	1	□○
		施工管理値	黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□○
	請負者説明文	請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。	全角文字 半角英数字	127	□△	
	ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	▲△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 □: 電子成果品作成者が記入する項目
▲: 電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 ◎: 必須記入。
○: 条件付き必須記入。(データが分かる場合は必ず入力する)
△: 任意記入。

※複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

【解説】

- 写真管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。
- 写真管理項目のデータ表現の定義は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」及び「工事完成図書等の電子納品要領(案)」の使用文字に従う。
- 付属資料1に管理ファイルのDTD、付属資料2に管理ファイルのXML記入例を示す。
- 「代表写真」の項目には、当該工事の概要が把握できる、または重要な写真である場合に「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。

4 ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

- 写真管理ファイルのファイル形式は XML 形式(XML1.0 に準拠)とする。
- 写真ファイルの記録形式は JPEG とし、圧縮率、撮影モードは監督(調査)職員と協議の上決定する。
- 参考図ファイルの記録形式は JPEG もしくは TIFF(G4)とし、JPEG の圧縮率、撮影モードは監督(調査)職員と協議の上決定する。TIFF(G4)は図面が判読できる程度の解像度とする。
- 写真管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。

【解説】

- 本基準「2 フォルダ構成」に示したように、写真管理ファイルのファイル形式は XML 形式とする。
- 写真管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、管理ファイルと同じ場所に格納する。

5 ファイル命名規則

- ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。
- 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、写真管理ファイルの DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
- 写真管理ファイルのスタイルシートのファイル名は「PHOTO04.XSL」とする。
- 写真ファイルの命名規則は次図の通り。

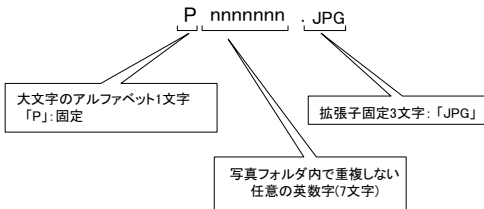


図 5-1 写真ファイルの命名規則

- 参考図ファイルの命名規則は次図の通り。

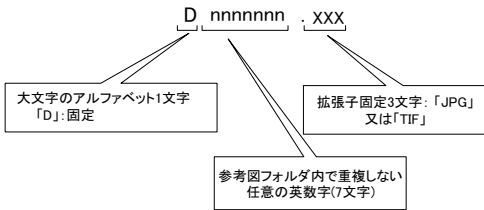


図 5-2 参考図ファイルの命名規則

【解説】

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角 (1 バイト文字) で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番することを基本とする。ファイル名は連番により、ファイルを区別することを基本とするが、欠番があっても構わない。

6 写真編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

7 有効画素数

有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標とする。

【解説】

- 有効画素数は、黒板の文字及び撮影対象が確認できることを指標(100 万画素程度)として設定する。
- 不要に有効画素数を大きくすると、ファイル容量が大きくなり、電子媒体が複数枚になるとともに、操作性も低くなるので、適切な有効画素数を設定する。

8 撮影頻度と提出頻度の取り扱い

写真の原本を電子媒体で提出する場合は、写真管理基準(案)に示される撮影頻度に基づくものとする。

9 その他留意事項

本基準に記載されていない電子納品に関わる事項は、原則として「土木設計業務等の電子納品要領(案)」、「工事完成図書の電子納品要領(案)」に従う。

付属資料 1 写真管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)の DTD(PHOTO04.DTD)を以下に示す。なお、DTD ファイルは、国土技術政策総合研究所のホームページ (<http://www.nilim-ed.jp/>) から入手できる。

```
<!--PHOTO04.DTD / 2006/01 -->
<!ELEMENT photodata (基礎情報,写真情報+,ソフトウェア用TAG*)>
<!ATTLIST photodata DTD_version CDATA #FIXED "04">

<!-- 基礎情報 -->
<!ELEMENT 基礎情報 (写真フォルダ名,参考図フォルダ名?,適用要領基準)>
  <!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 参考図フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>

<!-- 写真情報 -->
<!ELEMENT 写真情報 (写真ファイル情報,撮影工種区分,付加情報*,撮影情報?,代表写真?,施工管理値?,
  請負者説明文?)>
  <!ELEMENT 代表写真 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施工管理値 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>

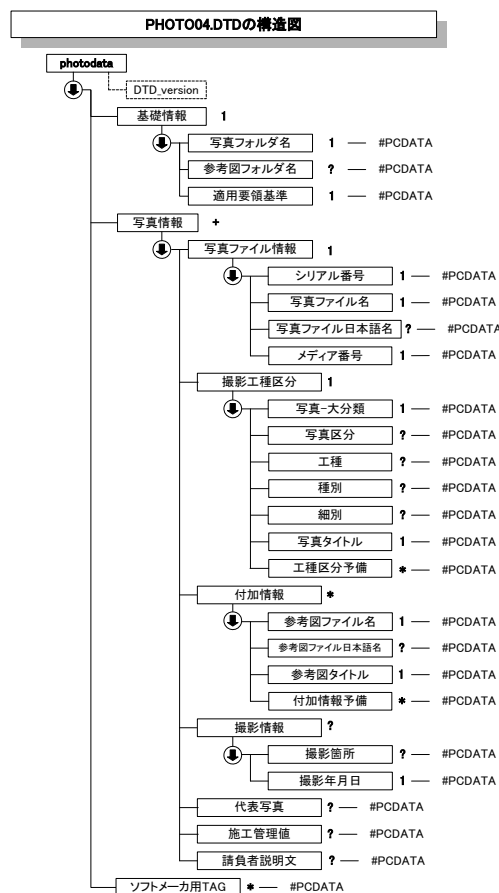
<!-- 写真ファイル情報 -->
<!ELEMENT 写真ファイル情報 (シリアル番号,写真ファイル名,写真ファイル日本語名?,メディア番号)>
  <!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真ファイル名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真ファイル日本語名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>

<!-- 撮影工種区分 -->
<!ELEMENT 撮影工種区分 (写真-大分類,写真区分?,工種?,種別?,細別?,写真タイトル,工種区分予備*)>
  <!ELEMENT 写真-大分類 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真区分 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 種別 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 細別 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真タイトル (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工種区分予備 (#PCDATA)>

<!-- 付加情報 -->
<!ELEMENT 付加情報 (参考図ファイル名,参考図ファイル日本語名?,参考図タイトル,付加情報予備*)>
  <!ELEMENT 参考図ファイル名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 参考図ファイル日本語名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 参考図タイトル (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 付加情報予備 (#PCDATA)>

<!-- 撮影情報 -->
<!ELEMENT 撮影情報 (撮影箇所?,撮影年月日)>
  <!ELEMENT 撮影箇所 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 撮影年月日 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメカ用TAG (#PCDATA)>
```



図付 1-1 写真管理ファイルの DTD の構造

付属資料 2 写真管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)の記入例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO04.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO04.XSL" ?>
<photodata DTD_version="04">
  <基礎情報>
    <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名>
    <参考図フォルダ名>PHOTO/DRA</参考図フォルダ名>
    <適用要領基準>土木 200601-01</適用要領基準>
  </基礎情報>
  <写真情報>
    <写真ファイル情報>
      <シリアル番号>1</シリアル番号>
      <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>
      <写真ファイル日本語名>出来形 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
      <メディア番号>1</メディア番号>
    </写真ファイル情報>
    <撮影工程区分>
      <写真-大分類>工事</写真-大分類>
      <写真区分>出来形管理写真</写真区分>
      <工程>舗装修繕工</工程>
      <種別>舗装打換え工</種別>
      <細別>下層路盤</細別>
      <写真タイトル>路盤(1層目)出来形測定</写真タイトル>
      <工程区分予備>工程区分の特筆事項があれば記入する。(複数入力可)</工程区分予備>
    </撮影工程区分>
    <付加情報>
      <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名>
      <参考図ファイル日本語名>位置平面図 00001.JPG</参考図ファイル日本語名>
      <参考図タイトル>位置平面図</参考図タイトル>
      <付加情報予備>付加情報の特筆事項があれば記入する</付加情報予備>
    </付加情報>
    <撮影情報>
      <撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>
      <撮影年月日>2006-02-26</撮影年月日>
    </撮影情報>
    <代表写真>1</代表写真>
    <施工管理値>As 舗装:設計寸法 400mm・実測寸法 405mm</施工管理値>
    <請負者説明文>請負者側で検査立会者、特記事項等状況等、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文>
  </写真情報>
</photodata>
```

```
<写真情報>
<写真ファイル情報>
  <シリアル番号>2</シリアル番号>
  <写真ファイル名>P0000002.JPG</写真ファイル名>
  <メディア番号>1</メディア番号>
</写真ファイル情報>
<撮影工種区分>
  <写真-大分類>工事</写真-大分類>
  <写真区分>施工状況写真</写真区分>
  <工種>月末写真</工種>
  <写真タイトル>2 月末</写真タイトル>
</撮影工種区分>
<撮影情報>
  <撮影箇所>測点:2L</撮影箇所>
  <撮影年月日>2006-02-27</撮影年月日>
</撮影情報>
</写真情報>
<ソフトウェア用 TAG>ソフトウェアメカが管理のために使用する。(複数入力可)</ソフトウェア用 TAG>
</photodata>
```